



2025年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月13日

上場会社名 ビジヨナル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4194 URL <https://www.visional.inc/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 南 壮一郎
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 末藤 梨紗子（TEL） 03-4540-6200
半期報告書提出予定日 2025年3月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年8月1日～2025年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期中間期	36,930	17.5	10,224	4.4	10,819	6.1	7,549	4.7
2024年7月期中間期	31,432	19.0	9,791	68.1	10,193	65.3	7,212	74.0

（注）包括利益 2025年7月期中間期 7,682百万円（6.8%） 2024年7月期中間期 7,191百万円（73.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期中間期	190.21	182.60
2024年7月期中間期	184.25	174.18

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期中間期	81,835	59,015	71.8
2024年7月期	76,314	52,388	68.3

（参考）自己資本 2025年7月期中間期 58,729百万円 2024年7月期 52,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,400	15.5	19,150	7.4	19,600	6.1	13,470	3.7	339.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期中間期	39,748,600株	2024年7月期	39,642,100株
② 期末自己株式数	2025年7月期中間期	269株	2024年7月期	236株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年7月期中間期	39,688,699株	2024年7月期中間期	39,143,549株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当中間連結会計期間の我が国経済は、個人消費等の一部において足踏みが残るものの、緩やかに回復しています。先行きについても緩やかな回復が続くことが期待される一方で、各国の通商政策等の動向や、欧米における高い金利水準の継続、中国経済停滞の継続懸念等、世界経済の下振れに伴う我が国の景気下押しリスクは解消しておらず、依然として不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループにおいては企業の求人意欲の継続を背景に、当中間連結会計期間においてもBizReach事業がグループ全体の業績をけん引する結果となりました。

この結果、当中間連結会計期間の実績は、売上高は36,930百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は10,224百万円(同4.4%増)、経常利益は10,819百万円(同6.1%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は7,549百万円(同4.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。(売上高は外部顧客への売上高を記載しております。)

(i) HR Tech

HR Techセグメントは『BizReach』、『HRMOS』及びその他のHR Techサービスで構成されています。

BizReach事業においては、引き続きプロフェッショナル人材領域の人材需要の強さや、積極的な広告宣伝活動の結果として、当中間期末時点で、累計導入企業数(注1)は34,700社以上(前連結会計年度末31,700社以上)、利用ヘッドハンター数(注2)は8,400人以上(同7,800人以上)、スカウト可能会員数(注3)は281万人以上(同258万人以上)となりました。すべての指標について、前連結会計年度末比で成長し、BizReach事業の売上高は32,129百万円(前年同期比16.8%増)、管理部門経費配賦前の営業利益(注4)は13,233百万円(同8.5%増)となりました。

HRMOS事業においては、プロダクト投資を継続しつつ、利用顧客の拡大のための営業活動等を行っております。2024年11月に『HRMOS経費』の新機能として、交通費精算、出張精算の伝票に『HRMOS勤怠』の打刻情報を自動取得し表示する機能、2025年1月には『HRMOS採用』の新機能として、年間の採用予定人数に対してリアルタイムで進捗が確認できる「採用計画機能」をリリースしております。また、新たな経営課題である「人材流出」に対し、社員にキャリアの選択肢と可能性を提供する「社内スカウト」活動を推進することで、社員が働き続けたい会社作りを目指す新サービス『社内版ビズリーチ by HRMOS』の提供を開始しております。本サービスは、『BizReach』で蓄積されたデータを学習した生成AIを搭載し、社内レジュメや社内ポジション要件の自動生成、高精度な人材検索とレコメンデーションを通じて、社内人材と社内ポジションの最適なマッチングを実現するものです。

『HRMOS採用』及び『HRMOSタレントマネジメント』両サービス合算のKPIについては、ARR(注5)は前年同期末比30.5%増の3,182百万円、利用中企業数(注6)は同23.8%増の2,159社、ARPU(注7)は同5.4%増の122,852円となり、12か月平均であるChurn rate(注8)は0.56%となりました。

この結果、HRMOS事業の売上高は2,383百万円(前年同期比36.6%増)、管理部門経費配賦前の営業損失(注4)は121百万円(前年同期は495百万円の管理部門経費配賦前の営業損失)となりました。

これらの結果、HR Techセグメントの当中間連結会計期間のセグメント売上高は35,760百万円(前年同期比18.7%増)、セグメント利益は11,754百万円(同9.9%増)となりました。

- (注) 1. 『BizReach』を導入した累計企業数、ヘッドハンターを除く
 2. 株式会社ビズリーチによる審査を経たヘッドハンター数
 3. 『BizReach』会員のうち、「採用企業への職務経歴書公開設定」を公開にしている、又は、「ヘッドハンターへの職務経歴書公開設定」を公開にしている会員数
 4. 経理、法務、人事機能等の経営管理に携わる人件費や付随する外注費等の費用及び、情報システム部門やデザイン部門のうち直接製品に費用を賦課することの出来ない人件費や付随する外注費等の費用を事業に負担させる前の事業の営業利益又は損失
 5. Annual Recurring Revenueの略称。各四半期末の月末のMRR(Monthly Recurring Revenueの略)を12倍して算出。MRRは、対象月末時点における継続課金企業に係る月額料金の合計額(一時収益は含まない)
 6. 『HRMOS採用』及び『HRMOSタレントマネジメント』のサービスを利用するユニークな有料課金ユー

ザー企業数

7. Average Revenue Per Userの略称。月末時点のMRR÷利用中企業数
8. 当月の解約により減少したMRR÷前月末のMRRを単月Churn rateとし、その直近12ヵ月平均

(ii) Incubation

Incubationセグメントは『トラボックス』、『M&Aサクシード』、『yamory(ヤモリー)』、『Assured(アシュアード)』等で構成されています。なお、2023年12月1日付で当社の連結子会社であった株式会社Bizヒントの全株式を譲渡したことに伴い、BizHint事業を連結の範囲から除外しております。

Incubationセグメントの各事業については、HR Techセグメントより生み出される利益の範囲内で人材投資、新規プロダクト開発、広告宣伝活動等を行っており、当中間連結会計期間のセグメント売上高は1,115百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント損失は774百万円(前年同期は324百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は81,835百万円で、前連結会計年度末に比べ5,521百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が2,503百万円増加し、60,611百万円となったこと、売上高が伸長したことにより受取手形及び売掛金が1,396百万円増加し、7,150百万円となったこと、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得によりおれんが1,276百万円増加し、3,799百万円になったこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債合計は22,820百万円で、前連結会計年度末に比べ1,105百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が882百万円減少し、3,427百万円となったこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は59,015百万円で、前連結会計年度末に比べ6,627百万円の増加となりました。これは主に、子会社株式の追加取得により資本剰余金が1,108百万円減少したこと、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が7,549百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の連結業績予想につきましては、2024年9月12日に公表した内容から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,107	60,611
受取手形及び売掛金	5,753	7,150
その他	1,846	2,388
貸倒引当金	△55	△65
流動資産合計	65,652	70,084
固定資産		
有形固定資産	1,880	2,051
無形固定資産		
のれん	2,523	3,799
その他	1,329	1,168
無形固定資産合計	3,852	4,968
投資その他の資産		
その他	4,932	4,734
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,929	4,730
固定資産合計	10,662	11,751
資産合計	76,314	81,835

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9	2
未払法人税等	4,310	3,427
契約負債	8,615	10,204
賞与引当金	1,084	1,187
その他	7,849	6,199
流動負債合計	21,869	21,021
固定負債		
持分法適用に伴う負債	1,813	1,653
長期借入金	37	9
繰延税金負債	206	110
その他	-	25
固定負債合計	2,056	1,798
負債合計	23,926	22,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,503	6,524
新株式申込証拠金	2	0
資本剰余金	10,467	9,358
利益剰余金	35,213	42,763
自己株式	△1	△2
株主資本合計	52,185	58,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26	24
為替換算調整勘定	-	60
その他の包括利益累計額合計	△26	85
新株予約権	170	206
非支配株主持分	58	80
純資産合計	52,388	59,015
負債純資産合計	76,314	81,835

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
売上高	31,432	36,930
売上原価	2,655	3,320
売上総利益	28,776	33,610
販売費及び一般管理費	18,985	23,385
営業利益	9,791	10,224
営業外収益		
持分法による投資利益	159	159
違約金収入	216	404
その他	33	35
営業外収益合計	410	599
営業外費用		
支払利息	0	0
コミットメントフィー	2	2
為替差損	4	0
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	8	4
経常利益	10,193	10,819
特別利益		
子会社株式売却益	462	-
特別利益合計	462	-
特別損失		
投資有価証券評価損	10	-
特別損失合計	10	-
税金等調整前中間純利益	10,645	10,819
法人税、住民税及び事業税	3,365	3,168
法人税等調整額	67	80
法人税等合計	3,432	3,249
中間純利益	7,212	7,570
非支配株主に帰属する中間純利益	-	21
親会社株主に帰属する中間純利益	7,212	7,549

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
中間純利益	7,212	7,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	50
為替換算調整勘定	-	60
その他の包括利益合計	△20	111
中間包括利益	7,191	7,682
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,191	7,661
非支配株主に係る中間包括利益	-	21

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,645	10,819
減価償却費	336	412
のれん償却額	250	267
株式報酬費用	27	35
違約金収入	△216	△404
持分法による投資損益(△は益)	△159	△159
賞与引当金の増減額(△は減少)	88	102
売上債権の増減額(△は増加)	△413	△1,358
子会社株式売却損益(△は益)	△462	-
契約負債の増減額(△は減少)	831	1,588
棚卸資産の増減額(△は増加)	0	△10
未払金の増減額(△は減少)	△58	△876
その他	△550	△550
小計	10,319	9,865
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
違約金の受取額	228	373
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,466	△4,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,081	6,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37	△1,132
投資有価証券の取得による支出	-	△50
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	465	-
その他	0	148
投資活動によるキャッシュ・フロー	420	△2,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4	△34
新株予約権の行使による株式の発行による収入	43	40
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△1,130
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	38	△1,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,541	2,502
現金及び現金同等物の期首残高	41,170	58,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	50,711	60,609

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結財務 諸表計上額 (注)2
	HR Tech	Incubation	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,123	1,237	31,361	71	31,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	41	59	△59	—
計	30,140	1,279	31,420	12	31,432
セグメント利益又は損失(△)	10,691	△324	10,366	△575	9,791

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結財務 諸表計上額 (注)2
	HR Tech	Incubation	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,760	1,115	36,876	54	36,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	0	39	△39	—
計	35,798	1,116	36,915	15	36,930
セグメント利益又は損失(△)	11,754	△774	10,980	△755	10,224

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。